

通して、できるだけ早く制度にもっていききたい。

【公園全般と東恋ヶ窪なかよし公園代替公園】  
問) “迷惑施設”からの脱却を目指し、既存の公園機能の見直しを市民参加で取り組んでほしい。また、東恋ヶ窪代替公園の交渉については、プレイステーションのようなダイナミックな遊びができるスペースの確保と環境整備を求める。  
都市建設部長) お時間をいただきたい。

【男女平等に関する市民意識・実態調査】  
問) 男性問題やワークライフバランス、リプロダクティブ・ヘルス/ライツなどの調査を求める。  
市民生活部長) 時代に相応しい設問にしたい。

## 特別支援教育・ これからの公の施設について

生活者ネット・市民クラブ 多良 京香子

問) 「国分寺市特別支援教育基本計画(義務教育時)」の発達障害者支援法に準拠した見直しと義務教育前後の計画策定の進捗は。

福祉保健部長) 現在策定中の「国分寺市障害者計画」に「障害児支援情報共有システムの構築事業」として位置づけている。その方の一生にわたり一貫した切れ目のない個別の支援を子ども福祉部と連携して研究、検討していく。

問) 総合的な支援のために福祉と教育が連携することは不可欠。早急に協議に入るべきでは。

福祉保健部長) 今議会終了後に会議を開催する。

問) トータルな個別支援を成功させるには保健、福祉、教育、医療、労働の分野をつないだ横断的な支援が受けられる組織体制作りを。

福祉保健部長) ワンストップサービスが可能な地域障害者総合相談センターの設置を検討する。

問) 適切な支援のための情報がどのように小中学校間で引継がれているかを当事者の生徒、保護者が知ることがスムーズな移行支援につながる。

教育長) 学校を指導し、今年度から取り組む。

問) 個々のニーズに応えるための選択肢を増やす意味から中学校にも情緒障害の固定学級設置、特別支援教室の開設が必要と考えるが。

教育長) ニーズは把握しており、検討する。

問) 公の施設の利用活動団体が増加の一途をたどる中、既存の施設の有効利用は必須。目的や利用者が限定されている施設について縦割りを廃した考え方の整理に取り組み始めよ。

政策部長) 各所管の担当範囲の中で研究する。

## 踏切安全策は 街づくりと住民合意を重視して

日本共産党国分寺市議団 中山 幸子

問) 道路346号線と西武国分寺線踏切立体交差の予算は2年前に凍結。市は附帯決議の立場で一度は多摩湖線並の整備の表明もした。その後、一変して平面交差を断念。都の事業として進めているようだが、安全対策は。

市) ソフト面での安全対策は早い時期に結論を。

問) 立体交差を凍結して2年以上放置状態といえる。公約も破りこの責任は市長にある。

市) あのまま放置はできない。検討をする。

★都は市に対し、住民意向などの経過把握の資料を求めている。都の事業にする経緯を明らかにし、市民への説明を求めた。都との協議は街づくりと住民合意の立場ですべき。

問) 市民は厳しい生活状況にある。各施策の目的や背景を据えての改善を。

①緊急システム 設置時に非課税世帯で6千円

強に。廃止した軽減策があればその半額になる。この軽減は他の施策にも連動するもの、復活を。

②おむつ助成 介護認定3以下は利用不可。失禁で常時必要な方も利用できるように。入院でも利用できるように改善を。

市) ①厳しい現状は認識する。総合的に判断する。②利用者が増え財政的に厳しい。入院の場合については研究してみたい。

★市の実態調査でも制度の矛盾など、様々な改善を求めている声がある。検証と検討をすべき。

問) 医療の窓口負担分の軽減策として、減額認定書の普及を。

市) 該当者には説明していきたい。

※子ども手当は年少扶養控除廃止影響等で質問

## 3・2・8号線の 進捗状況・戸倉地域溢水対策は

市民サイド 釜我 健二

問=3・2・8号線の22年度末の用地買収見込みは。部長=国分寺市域での目標としては80%だ。

問=①小平市部分の完成予定年度は。②国分寺部分開通後の五日市街道交差付近の交通対策は。担当部長=①31年度完成予定だ。②府中街道までこの工事の中で拡幅整備される。

問=市役所西側の戸倉一丁目はアスファルトで固められ豪雨時の洪水が心配だ。改善を求めておいたが、その後どのように対処したのか。

担当部長=透水性舗装に切れ目加工を求める。

問=それでは全く不十分だ。台風シーズンも近い。洪水を防ぐあらゆる手段をうつべきだ。また、横断可能箇所が13箇所示されているが、もっと多くの横断可能箇所を確保すべきだ。

担当部長=今後も引き続き要請をしてゆく。

〈小金井市とのごみ共同処理の進展は〉

問=この問題に対する市のスタンスは。担当部長=まだ支援要請はないが、要請があれば手続きをふんで支援をする考えだ。

問=共同処理すれば市単独より建設費だけでも数十億安くなる。ランニングコストを入れるとさらにメリットは大きい。共同処理は両市にとって莫大な財政メリットとなる。ぜひ促進を。

市長=小金井市議会は昨年6月決議を行い、行政も二枚橋にすると決定した。小金井市を信頼し努力する。都にも支援・調整を求めている。

問=難しい局面にあることを考えると、やはり東京都のより一層の調整機能が重要だ。

副市長=折にふれ環境局・行政部へお願いしている。今議会後、再度要請していきたい。

## 課税及び徴税について 宗教法人課税について

生活者ネット・市民クラブ 星 文明

星) 国分寺市内では、4ヶ寺の境内で「斎場」が運営されているが課税されているのか。

総務部長) 収益をあげているものは、非課税ではないがその宗教法人の僧侶が葬儀等の導師等として出席しているときは、非収益事業として扱われる。使用料を別途徴収する等明らかに対価を有する場合は収益事業となる。

星) 斎場を「宗派」は問わない。自由にご利用下さい。料金は頂きます。このような場合は課税すべきではないか。

総務部長) 檀家でない者の葬儀でも住職がきて線香一本あげる。このような場合には、お布施になり領収書もださないこともある。難しい。

星) 一泊二日の葬儀の場合、何十万という領収

書が出ている。これでも課税できないか。総務部長) まだ研究不足ということががあるので勉強させて頂く。

星) 23区内は課税されている。三多摩は何ゆえに課税されないのか。斎場(葬儀会館)で行われる葬儀が檀家のものに限定されているのであれば、斎場をその宗教法人が専ら本来の用に供する境内建物と認定し、敷地をも境内と認定し得る。(非課税)しかし、檀家か否かを問わない場合には、収益事業を行っていると思なされる。

この場合、建物については境内建物とは認められず、建物の敷地についても境内地とは認められないとの規定ではないか。税は、1月1日が基準日だ。来年の1月1日までに結論を得るのか。

総務部長) 26市は課税実体がないということだ。検討・研究してみたい。1月1日は無理だろう。

星) 26市は課税実体がないということだ。検討・研究してみたい。1月1日は無理だろう。

## 街づくり百年の計 明確な再開発ビジョンを!

民主党・無所属クラブ 木村 徳

木村=ここ1~2年、市の事務執行のあり方がずさんだ。事務執行の円滑化・スピード化を図る目的で副市長を2名にしたが、全く逆の実態だ。事務執行のミスに対して「責任を明らかにする」と答弁した件すら明確にされていない。

副市長=市長と相談したかどうかははっきりしないので再度相談する。

木村=再開発の問題は、市長は景気のせいになっているが、中央線沿線の他の再開発は進んだことを考えれば、これはトップの責任だ。市長を辞めるべきではないのか。

市長=再開発を「成し遂げる」ことで責任を果たしていく。(※スケジュール延伸を繰り返している現実に照らせば、延伸を重ねて市長職に居座り続けるとの表明に他なりません)

木村=再開発は、まちづくり、事業費、スケジュール、の3要素のバランスによって判断すべきで、商業振興を中心とするまちづくりの視点を他の2つに縛られて疎かにすべきではない。

木村=現スケジュールに関しては、守ることは「できる限り」の努力ということだ。

木村=冒頭に指摘した事務執行のあり方とも関連し、事務の「効率化」の視点からもISO9001に準拠した、職務のあり方の導入を。

副市長=一定時間を頂いた上、検討結果を出す。

木村=条例や規則ではなく、内部決済のみで設置できる、不透明な「要綱」が増えている上に、要綱集もどれが新規設置のものか、一目でわからないように変更したのは何故か。

政策部長=今は的確な答弁ができない。

## 次の定例会開催予定

議会はどなたでも傍聴できます。

平成22年第3回定例会は、9月1日(水)から開会の予定です。

※本会議は市役所第1庁舎3階議場で、委員会は同委員会室で、午前9時30分から開始予定です。

議事担当 (内468)

